



SEMI  
PRO

01  
BY FILE NO.07

I'M NOT PROFESSIONAL  
BUT, I HAVE A POLICY

JAN  
2014.



UY

## This month's word

『ゲームセンターは、その国の文化の象徴だ』



I'm NOT Professional, BUT I Have a Policy

what's semipro?

素人以上プロ未満  
好きだから、こだわりがある。  
素人だから言える事もある。  
常識に縛られない表現の形。SEMI PRO

今回は、メダルと言えば、幼稚園時代に貰った健康優良児のメダルが今でも最後のメダルのチャーシュー長島が、メダルゲームのセミプロ、UYさんにお話を伺いました。

【初めてメダルゲームに出会ったのは?】  
小学校二年か三年生の時ですね。いとこと一緒だったのを覚えてます。

【プレイスポットと行く頻度は?】  
ニッポーモールのソニーゲームフィールドと熊谷ナムコランドですね。時々、イオン熊谷店のダイナレックスにも行きます。大体、月二回は友達と一緒にいきます。

【好きなメダルゲームはなんですか?】  
**KAZZAANI!! でもね。**  
ボールを上へ上へと運ぶだけと言う、単純で誰にでも一発逆転が狙えるところが良い。  
素晴らしいゲーム性のメダルゲームだと思います。現在は激 KAZZAANI!! という次世代機も良くやっています。

【印象に残ったエピソードはありますか?】  
KAZZAANI!! で、**99枚×12倍が当たって、メダルが打ち止めになったことです。** その時の店は熊谷のイオンで、お店の人がびっくりして『メダルが打ち止めまで出ないので台を変えてください。』と言われたのが印象的で興奮と共に良く覚えてます。

【他に好きなゲームはありますか?】  
同じくゲームセンターに置いてあるメダルで遊ぶゲームですが、パチンコとパチスロです。  
好きな台は、エヴァンゲリオンと宇宙戦艦ヤマト復活篇ですね。

【メダルゲーム、ゲームセンターの魅力は?】  
そうですね、友達とのコミュニケーションの潤滑油もそうですが、たとえば『この台当たりますか?』などの会話で、今日初めて逢った人とも話せる出会いの場と言うことです。今ゲームセンターには、格闘ゲームやシューティングなどのビデオゲームやメダルゲーム、カードゲームやCOO キャッチャーなどなど様々なゲームがあり、対応年齢も多種多様。その様々なジャンルのゲームをやっている人達は違う個性があって、そんなゲームセンターは色々なゲームで子供から高齢者まで、**色々な年代の人が笑いあうことのできる場所であり、そんな多種多様な人達との交流が面白いですね。**

【メダルゲームをやっていて、店内でかかるとテンションの上がる音楽はなんですか?】  
となりのトトロのエンディングテーマ『となりのトトロ』ですね。マリオで言うところのスターをとった時の感覚です。ちよっといつもより大胆になれるんです。(笑)

【やはり好きな映画はジブリ系ですか?】  
ジブリももちろん好きですが、メダルゲームにも通じる物がある、『**ホームアローン**』がお気に入りです。やっぱり、メダルゲームでも良くあるような泥棒を捕まえる為の仕掛けのシーンが面白いと思います。

【熊谷出身ということですが、オススメのお店はありますか?】  
田舎っぺうどん市役所前店ですね。  
市役所前店が出来る前は田舎っぺうどん熊谷北店に良く行っていました。やっぱり、うどんは武蔵野うどんですね。

## 昭和が生んだモンスターマシン 時代を創った名機



株式会社タイトーが1978年に発表したアーケード専用シューティングゲーム。当時のサラリーマンを中心に巻き起こった熱狂的なブームは社会現象にもなり全世界で約26万台がプレイされた。

## インベーダーゲーム

【くさんにとって、メダルゲームとはなんですか?】  
時間が過ぎるのが楽しい遊びです。

編集後記  
子供の頃、みんなが夢中になったゲームセンター。最近ではゲームセンターでしか出来なかつたブリクラまでがスマートフォンで作れる時代。それどころか、ブリクラすら超えた画像加工まで出来る時代になりました。その波はメダルゲームにまで波及。  
今やミリオンバラダイスやドラゴンコインズと言う、スマートフォンアプリでメダルゲームが出来ると知り、本当に驚きました。

今、ゲームセンターは斜陽の時代とされています。でも、中高年の社交場としてのゲームセンターと言う光が見えて来たそうです。実際、ゲームセンターでは、メダルゲームで夢中になって話をしながら遊ぶ中高年がられます。たくさんのメダルを台に乗せ遊ぶ中高年はまるで、昔のインベーダーゲームプレイヤーを彷彿とさせ、時代や年齢が変わっても、人は人のまま、心を少年に戻すことが出来るかと教えてくれます。そのことよって、またゲームセンターに子供が戻ることも希望は残されています。きっと、おじいちゃんおばあちゃんに連れられて来た子供たちが、本当に現実に手に出来るメダルの重さに夢中になって、その場所が友達が出来て、日本の未来にながっていくのかもしれない。これからも、どんなに便利になっても、どんなに人の手の中で全ての事が済むようになって、人と人の交流が本当のゲームの魅力であることは変わらないで欲しいと思った今日この頃。

ああ、明日メダルゲームをやりに行こう。本気で。



**ALL NEW SITE**

<http://www.strikingly.com/semipro>



2014.1



SEMIPRO.COM

DIGITAL BOOK MAGAZINE

**SEMI PRO**

BEARCANION FACTORY  
KUMAGAYA, JAPAN